

合志市の未来のために

合志市長 荒木 義行



謹賀

新年

合志市議会議長 池永 幸生



開かれた議会づくりへ



市民の皆さまにおかれましては、希望に輝く新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、合志1300年の記念の年にあたり、10月6日に開催しました秋祭りでは、竹とんぼによるギネス記録に市民の皆さまと共に挑戦し、見事世界記録認定となりました。まさしく「志を合わせて」という市名にふさわしい記録の誕生を大変うれしく思いました。

さて、人口の増加が続きます本市におきましては、人口の約10%を小・中学生が占め、65歳以上の高齢者の割合である高齢化率は約20%と、県の高齢化率約26%と比較しても大変若く、活気のあるまちとなっております。しかし反面、18歳を超えた年齢から他市町村への流失が増加するといった現象もおきています。これは、子育てがしやすいまちではあります。若人たちの働く場所が少なく定住しにくいま

この状況を解消するため「健康都市こうし」を掲げ、心と体の健康づくりを進める「市民の健康」と、健全な財政力を目指す「稼げる市」の2本の柱を実現しようと

さまざま取り組みを行なってきました。福祉面では、健康増進のための「ウエストサイズ大作戦」や「こうし健康塾」などの新たな事業や環境づくりを行なっています。また、市観光物産協会を設立し、新産業創出に向けた事業を推進しています。その他、土地利用に関する重点区域を設け、良好な住環境と雇用の場を確保するための施策を展開していくこととしています。

これらの取り組みは、一朝一夕に成果が現れるものではなく、行政だけで進められるものではありません。市民の皆さまのご支援とご協力をお願いいたします。最後に、本年が皆さまにとってより良き年となりますようご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。

市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。ともに、日ごろより市政発展のために多大なるご協力とご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

旧年中は、本市におきましては大雨や台風の接近もなく、穏やかな一年となりましたが、全国各地では台風や集中豪雨、竜巻などによる大きな災害が発生しており、一刻も早い復興を祈念するとともに被災された皆さまにお見舞い申し上げます。

最近の社会情勢は、アベノミクス効果により日本経済も少しずつ好転していると言われていますが、地方においては何ら変化が見られない状況です。今後、消費税の増税やTPP交渉、農業政策の転換など市民生活にどのような影響があるのか見えない状況であり、市民に身近な市町村行政の役割は、一層重要になってきてい

ます。

荒木市政においては、「健康都市こうし」を掲げ「稼げる市」の実現に向けて、いろいろな事業が展開されています。市議会といたしましても、昨年より取り組みました議会報告会や会派制の導入、議員個々の活動により、議員自らが皆さまの声を聴き、条例、予算案などの議決だけではなく、政策の提案・提言など行政に反映させていかなければならないと考えています。

新しい年を迎え、昨年9月に開始しました議会のインターネット中継の実施など市民の皆さまに積極的な情報公開を進めながら、開かれた議会づくりに努めるとともに、市民の皆さまが安全で安心して暮らし、誇りの持てる「合志市」となるよう全力を注いでまいります。どうか本年も、議会運営により一層のご支援とご協力をいただきますようお願いいたします。